

2009年 9月 30日 発行

## 9月議会

9月1日に始まった9月議会が28日に終わりました。9月議会というのは前年度の決算審査をする議会です。みなさんの税金が20年度にどう使われたのか・・・そのことを審議する大事な議会でした。また、8月30日の総選挙で政権が交代してからの初めての議会ということで、旧政権時代の補正予算・補助金をめぐって色々議論された議会でもありました。

## 1対24

46弾!の7月号でお知らせしたように、新座市は市内小中学校の全ての普通教室に50インチの地デジ対応テレビを導入しようとしています。全てが国からの補助金ということですが、現場の声は否定的なものが多いのです。「電子黒板としては小さ過ぎるし、普段教室に置くテレビとしては大きすぎて、邪魔になるし、危険である」というのが現場の考え方です。「地デジと言ったって、実際にテレビを見ることなど殆どないんですよ。」という声も方々から聞きました。民主党が政権を取り、ハツ場ダムの中止が決定的になってきた今、執行されていない補正予算は凍結される可能性があるのです。国からの補助金だからといって、何にでも飛びつくのは感心しません。市に負担がなくても、それは国民の税金なのですから。語る会、たかむらは「現場が必要と感じていないものに1億3000万円もかけるのはおかしい。」「しかも凍結される可能性がある今、この事業を進めていくことは危険である。」「どうしても電子黒板が必要だというのなら、普通教室ではなく、特別教室にもっと大型のものを用意すればいい。」そう反対討論しました。補正予算が凍結されれば、新座市民が1億3000万円を直接払うこととなります。20年度の経常収支比率は92.6%。財政が硬直しているのに無理はいけません。

## 意見書

今回の議会で語る会は「後期高齢者医療制度の早期廃止を求める意見書」を提出しました。国民の80%以上が反対をしているこの制度は自公政権が大敗した大きな要因になりました。民主党はマニフェストでこの制度の廃止を訴えていますし、長妻昭厚生労働大臣は「廃止」を明言しました。しかし、75歳以上のお年寄りには時間がありません。廃止に時間がかかれば、来年の4月からは保険料が改定となり、いっそうの負担増となるのですから急がなくてはなりません。この意見書に賛成したのは共産党(朝賀、石島、笠原、小野、工藤、小鹿議員)と刷新の会(佐原、柴崎、中村、島田、平松議員)だけであり、それ以外の議員達は全てこの提案に反対しました。結局この意見書(議員提出議案)は12対13で否決され、政府に届くことはなくなったのです。選挙前に何を公約したかではなく、選挙の後の議会でどういう主張をしたのか。市議会でもそれをしっかりと記憶しなくてはなりません。僕らもやがて後期高齢者になるのです。こんなふざけた制度がこの国にあっていい訳がありません。



19日(土)に行われた我が母校、新座五中の体育祭の風景。五中伝統の2色対抗の体育祭は見ている実に爽やかで、そして熱くなる体育祭でした。

## ③ 国保税

9月議会の最終日、共産党が提出した「新座市国民健康保険税を引き下げる」条例改正案に語る会たかむらは賛成しました。昨年の3月議会で、制度改正で赤字になるから・・・という理由で平均7.55%も引き上げられた国保税。ところが、20年度決算では8億8000万もの繰り越し金が出たのですから、ことは重大です。条例改正案では値上げ分2億8000万を引き下げ、残りの6億はインフルエンザ対策に対応する。というものですから反対する理由がありません。国保はもともと家計が苦しい人たちの数が圧倒的に多いという仕組みがあります。国保税で不足する分は国が約50%みていたのに、どんどんその割合が下がってきて、今では20%台。これでは払えない人が増えるのも当然です。弱者に厳しい旧政権の姿がここでも見えます。ところが、この条例改正案には自民・公明とともに民主系の刷新の会も反対しました。弱者を救えないのでは政治の存在価値がありません。来年の春では間に合わない人たちがいるかも知れないのです。

## ③ 少人数学級

共産党の新人小野さんから提出されたのが「30人以下学級の早期実現を求める意見書」です。日本の小学校の一学級あたりの児童数は28.2人、中学校では33.2人といずれもOECD加盟国では下から2番目の低水準です。この間の選挙ではどの政党も少人数学級にすることをマニフェストに書いていましたから、全会一致で可決されると思ったのですが・・・この意見書(議員提出議案)も自民・公明の多数によって12たい13で否決されました。日本の子どもたちの学力低下の問題をどうとらえているのでしょうか。この採決も市民のみなさんには是非記憶しておいて欲しいことのひとつです。少人数学級にして、優秀な先生をたくさん集め、先生達の負担を少なくしていくことが学力向上には必要です。少人数学級で日本の教育レベルは上がっていくはず。どうせ補助金を出すのなら、大企業が喜ぶ補助金ではなく先生や子どもたちが喜ぶ補助金を出して欲しいものです。

## ③ 孫は優しい

孫は優しい。の「ま」は豆。「ご」は胡麻。「は(わ)」はワカメなどの海藻類。「や」は野菜。「さ」は魚。「し」は椎茸・茸類。「い」は芋類。これを毎日の食事に欠かさないように気をつけたことで、プロ野球の工藤選手は痛めた内臓の機能を回復させ、若々しい肉体を維持したのだそうです。我が家の朝ごはんは毎回同じようなものですが、ほとんどの場合「孫は優しい」朝ごはんになっていることに気がきました。「早寝・早起き朝ごはん」と言われていますが、大人も子どもも「孫は優しい」朝ごはんで行きたいものです。



特定外来種のアレチウミを廃棄する「黒目川川掃除」のメンバー。重労働ですが、やりがいがあります。

## たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・音楽・読書。六中では硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を10年間1度も休むことなく発行。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106